



代表取締役 香山 健二 × 代表取締役 澤井 大輔
社長 社長

私たち株式会社小澤製作所は、社員一人一人となつて新しいものづくりに挑戦し、的確な判断とスピーディーな対応で、お客様に満足してもらえるサービスの提供に努めています。2023年も、一つひとつの要望に真剣に向き合いながら、さらなる発展を目指してまいります。

新たなステージを目指して

おかげさまで、2022年は目標の売り上げを達成することができました。ここ数年間の地道な努力の積み重ねが実り、少しずつよい方向に歯車が回り始めてきたと感じています。取引先の企業様から頻繁にお声がけをいただけており、今後、さらに大きな案件の受注へとつなげていけるのではないかと期待に胸を膨らませているところでです。

私たちの強みは、「人」と「技術」です。営業担当者を中心に誠実な対応を心がけており、特に2022年は、お客様からの信頼が大きな輪となつて広がっていくの

を実感できた1年になりました。会社全体が上昇気流に乗っている今、10年、20年先のあるべき姿を見据えつつ、柔軟で力強い組織体制の構築に努めているところです。

人の力を最大限に生かす

深刻な人材不足は、私たちが優先して取り組まなければならない課題の1つです。人手が足りないばかりに、前期は新規開拓を一時ストップせざるを得ず、非常に残念でした。売り上げの拡大を考えていくうえで、充実した人材を確保していくことは私たちに与えられたミッションです。

2022年は、3名の新入社員を採用しました。人数が増えた分、既存メンバーの負担が軽減されたのはもちろん、勉強熱心な新人の姿に感化されて、資格の取得を目指し始めた社員もおり、新しい風が社内にはプラスの変化を引き起こしているのを感じています。

より働きがいのある職場を作るため、私たちは2023年の8月をめぐりに人事評価制度の本格的な導入を予定しています。試験的な実施はすでに開始しており、基準の明確化や評価項目の検討、定量的なものとの定性的なものとのバランスをどう定めていくかなど、これからさらに内容を詰めていかなければなりません。しっかりと精査しながら、社員のモチベーションアップにつながる仕組みを整えていきたいと考えています。

「小澤カラー」を確立させたい

2023年は2022年の業績をキープしつつ、人財を確保し、2024年以降、さらなる売り上げの拡大を図っていきます。営業面では大型案件をどれだけ獲得していけるかが重要なポイントになってくるでしょう。量と質の両面における受注の拡大を目指していきたいと考えています。その前提となるのが人財の確保であり、今まで以上に充実したリクルート活動を

展開していきます。その一環として、私たちはこれまで手がけてこなかった高校の新卒者の募集を始めました。さらに2024年以降には、大学の新卒者採用も計画しています。現在いるメンバーのほとんどが中途での採用であり、そこに新卒者が加わることで、小澤製作所のカラーがより強まっていくことを期待しています。

2023年は、新たなステージへの第一歩を踏み出す年になるでしょう。

よりよい未来を創造していきたい

私たちが担うべき使命は、すべての社員が、「熱意・情熱を注ぎ、成長・向上できる場を提供し、幸福を手にする」という、小澤製作所の経営理念に集約されています。その実現に向けて、未長く存続していくための体制を会社のなかにしっかりと確立させていく。今の時代に合った、ふさわしい企業のあり方を私たちは全力で追求していきます。

絶え間ない努力と不屈のチャレンジ

精神で、未来を切り拓いていく私たちの活動に、これからもご期待ください。

熱意や向上心を磨く場は、私たちの仕事のなかにたくさん用意されています。社員の皆さんのスキルアップや自己実現を会社は全力で応援していますし、そのための投資も惜しみません。これまでお客様の「こんな作れる?」という要望を力タチにしてきましたが、今後は、社内の「こんな作りたい!」というアイデアも取り入れ、実現していきたい。それは、一貫して変わることのない小澤製作所のスタンス。その意識を胸に、2023年も力を尽くしてまいります。どうぞよろしく願っています。

漢字一文字で 2022年を振り返り!

早いもので2022年ももう終わり…。皆さんにとって今年はどのような1年でしたか？



設計部兼第一工
設計部マネージャー
たけむら ゆうき
竹村 幸起さん

2022年の漢字



コロナの影響にて入場制限がかけられ、職人の人数を減らしていましたが、お客様先へ積極的に人員の必要性を呼びかけ、以前と同様くらいの職人の人数に回復させることができました。

2023年の目標

2022年同様、攻めの姿勢で取り組みます。



小澤製作所
第一工事部部長
まえの たくや
前野 拓也さん

2022年の漢字



2022年は、7月に営業部に1名、工事に1名と中途にて新入社員が入社しました。新人の教育をするにあたり、私自身も忘れていたことを再度勉強しつつ教えることが多くあり、教育する難しさに直面しております。しかし、一つ一つできないことができるようになって成長していく姿を見ると頼もしくなり、嬉しい気持ちにもなりました。教育することとは、共に成長することが多いということが実感した1年でした。

2023年の目標

新たな仲間が増えたことによって、会社としても一歩成長するために、現状の職場環境に満足せず働きやすい職場作りを目指していきたいと思っています。



小澤製作所
第一工事部
あべ しょうた
阿部 翔太さん

2022年の漢字



小澤製作所に入社し、自ら発言、発信する業務に携わることになりました。自分の不得意なところでもありますが失敗を恐れずチャレンジすることで自分を高めることができると思います。

2023年の目標

1日1つでも知識を得て、少しでも早く役に立てるように業務に取り組みます。



BRICKYARD
かやま さえき
香山 冴季さん

2022年の漢字



今年も常連様、リピーター様、またご新規様までブリックヤードをご利用いただき、たくさんのご縁に恵まれました。

2023年の目標

ブリックヤードで過ごす時間を楽しんでいただけるよう環境づくりに引き続き、努めていきたいと思っています。



小澤製作所 製造本部 副部長
兼 第二工事部部長
ふかみ えいじ
深見 英司さん

2022年の漢字



第二工事部の立ち上げをしたときから言い続けていることが、実現できはじめた1年となりました。既存顧客様の定着化、リピート、「小澤さんに任せておけば。」とより深く思っていただけかと思っています。

2023年の目標

新入社員を迎え入れ、新規顧客の開拓をしていく1年にしたいと思います。



IZUMI PARKING

2022年の振り返りと2023年の抱負

新しい年を迎えて心機一転、いずみパーキングの目指すところは？
そこで今回、西山さんに2022年を振り返っていただくとともに、
2023年の抱負をお聞きました。

いずみパーキング
新栄営業所
現場統括マネージャー
にしやま ひろま
西山 雄真さん



2022年の振り返りと感じた課題

6月を境に有人駐車場管理と営業の並行から、営業に特化することに。身が引き締まる思いの中、営業に注力したものの不完全燃焼、満足できる結果とはなりません。この背景には同業他社の増加、京阪からの大手の進出、コロナによる社用車削減や駐車場解約などさまざまな要因があります。これらへの対応に難儀しました。「思ったよりも数字が取れなかった」と反省できるのは、数字を見る余裕が少し出てきたからこそとは思いますが……。



2023年の抱負

社長に「駐車場事業をやっている良かった」と思ってもらえるような、「小澤製作所は製造と駐車場、2足のわらじで成り立っている」と胸を張って言えるようにしっかり組織づくりを目指します。



お客様へメッセージ

皆さんに愛される駐車場会社を目指して、愛と誠実さで邁進してまいります。2023年もよろしくお祈りいたします！

BRICKYARD Recommended

2022年もありがとうございました！



皆さまへ

12月も沢山のお客様にご利用いただきました。
ご新規さま、リピーター様、また常連様と、新たなご縁にもたくさん恵まれた1か月となりました。クリスマスの時期ということもあり、近くの園芸屋さんで出会った可愛い人形も置きました。
2023年に向けて、スタジオ内の備品も少しずつ新調をしながら、毎月ご利用して下さるお客様にも変化を楽しんでいただきたいと思います。

かやま さえき
文章：BRICKYARD 香山 冴季さん